

介護老人保健施設 しおさい

荒木 詩音 (看護部 / 看護師)

功 績 新体制下において、ノロウイルスの発生や看護部管理職の突発的な休職など、厳しい状況が重なる中、看護の中心としてだけでなく入所部門全体を支える役割を果たした。西伊豆健育会病院との連携も適切に行い、混乱の中でも業務を円滑に継続。自部署長不在の中でも、「OUR TEAM」という意識を持ち、多職種との連携を図りながら施設全体を牽引する中心的存在として貢献した功績

推 薦 者 山田伸八

推 薦 理 由 新体制下でノロウイルスの発生や管理職の突発的な休職が重なる厳しい状況の中、本人は看護の中心としてだけでなく、入所部門全体を支える行動力と判断力を発揮しました。また、西伊豆健育会病院との連携にも尽力し、業務の安定化に大きく貢献。自部署長不在という状況でも「OUR TEAM」の意識を持ち、部署を超えて組織全体を支える姿勢は非常に高く評価されます。今回、今後さらに重要な役割を担う人材として理事長賞候補に推薦いたします。

内 容

新年度を迎え、しおさいでは看護部門の体制が変わり、私たち介護部門でも職員の入替わりや新人職員の入職があり、新たな体制のもと、入所部門全体で協力しながらスタートを切りました。

しかし、4月初めに施設内でノロウイルスが発生し、ご利用者・職員ともに次々と発症。日々陽性者が増加する中で、職員は一致団結して業務にあたっていました。そうした中、看護部門では職員1名が長期離脱となり、看護部管理職が不在となる事態が発生しました。感染対策を講じながら日々の業務を行う中での出来事であり、看護部をはじめ、部署全体が不安や対応に追われる日々が続きました。そのような厳しい状況の中、看護職員の荒木さんは看護の中心的存在として業務を遂行してくださいました。感染対策下で職員の離脱が相次ぐ中、通常業務を維持するだけでも困難な状況でしたが、荒木さんは看護部門のみならず入所介護の現場にも支援の手を差し伸べ、日々変化する感染対応に柔軟に取り組みされました。

また、西伊豆健育会病院の看護師とも連携を取り、「OUR TEAM」として同法人職員全体でこの困難を乗り越えようと働きかけてくださいました。

看護部師長の不在という不安、そして長期にわたる感染対策による体力的・精神的な疲労が重なる中、中心となって使命感を持って行動することは、誰にでもできることではありません。そのような中で、荒木さんの姿勢と行動は看護部門だけでなく、介護部門の職員一人ひとりにも「自分たちも使命感を持って行動しなければならない」という意識の変化をもたらしました。

この経験を通じて、今では新年度当初よりもさらに強固なチーム体制が築かれており、たとえ今後また同様の事態が起こったとしても、乗り越えていけるという自信が職員一同に芽生えています。

より良いサービスの提供に向けて中心的役割を果たしてくださった荒木さんに、心より感謝申し今回理事長賞候補に推薦させていただきます。